

## 小委員会事案②

### ■ 自然再生箇所の利用推進 <取組中>

#### ② 鶴居村：幌呂地区

##### 【利活用の方角性】

- ・ 釧路湿原西側のプラン構想

幌呂地区自然再生箇所周辺の釧路湿原の西側には、右岸堤防や軌道跡でつながる観光資源が複数存在している。

これを一連で活用し、より釧路湿原の価値を引き出す。

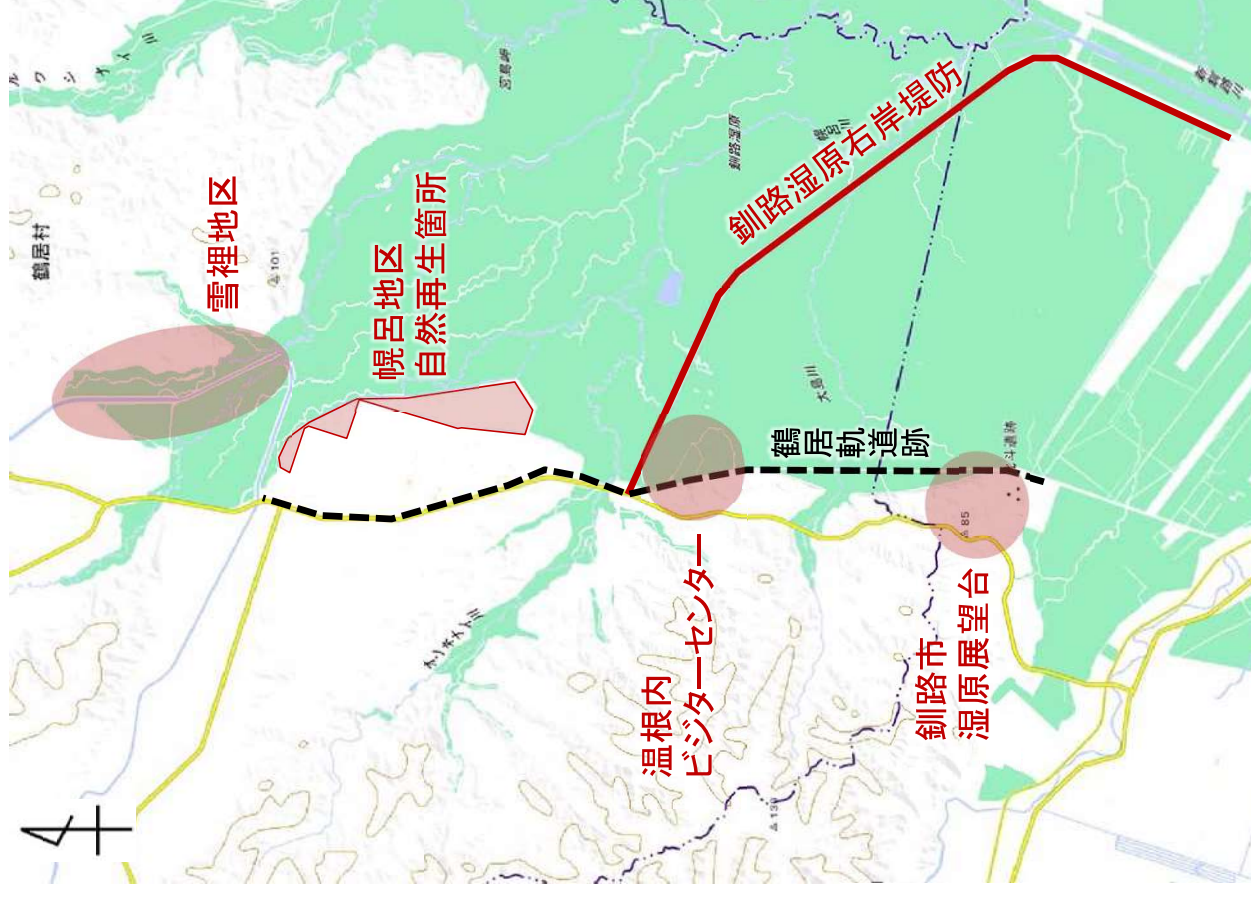
##### 【幌呂地区レイアウトマップ素案】

幌呂地区の利用用コンセプトに則り、利活用のための整備に向けた施設・見学ポイントを示したマップ。

- ・ 幌呂地区自然再生箇所の利活用コンセプト
  - 湿原内を「歩ける」
  - 湿原を問近に「観察できる」
  - 自然再生事業を「体験できる」「学べる」



←R04には幌呂地区の  
現地視察を実施



## 小委員会事案②

### ■ 自然再生箇所への利活用推進 <取組中>

#### ② 鶴居村

- ・ 意見交換会

実施日：令和5年10月4日

参加者：國安氏（鶴居村）

#### 【意見交換の内容】

- ・ 昨年度の現地視察から一歩進んで、具体的な活用方法に向けた議論を行った。
- ・ レイアウトマップをもとにした利活用方法の意見交換を行った。

#### 【意見交換の結果】

- ・ 人を呼び込むのに、**駐車場の整備は重要**である。また滞在時間を長く考えている場合は**トイレも必要**である。
- ・ **撮影スポット**があると人が集まりやすい。
- ・ 鶴居村には湿原を見下ろす場所が少ないので、小高い盛土が整備されれば貴重な展望スポットになると思う。
- ・ 鶴居村周辺のサイクリングマップを作成しており、マップを更新する際に自然再生の情報を入れること可能であると考えている。



使用した  
レイアウトマップ→



小委員会事案③

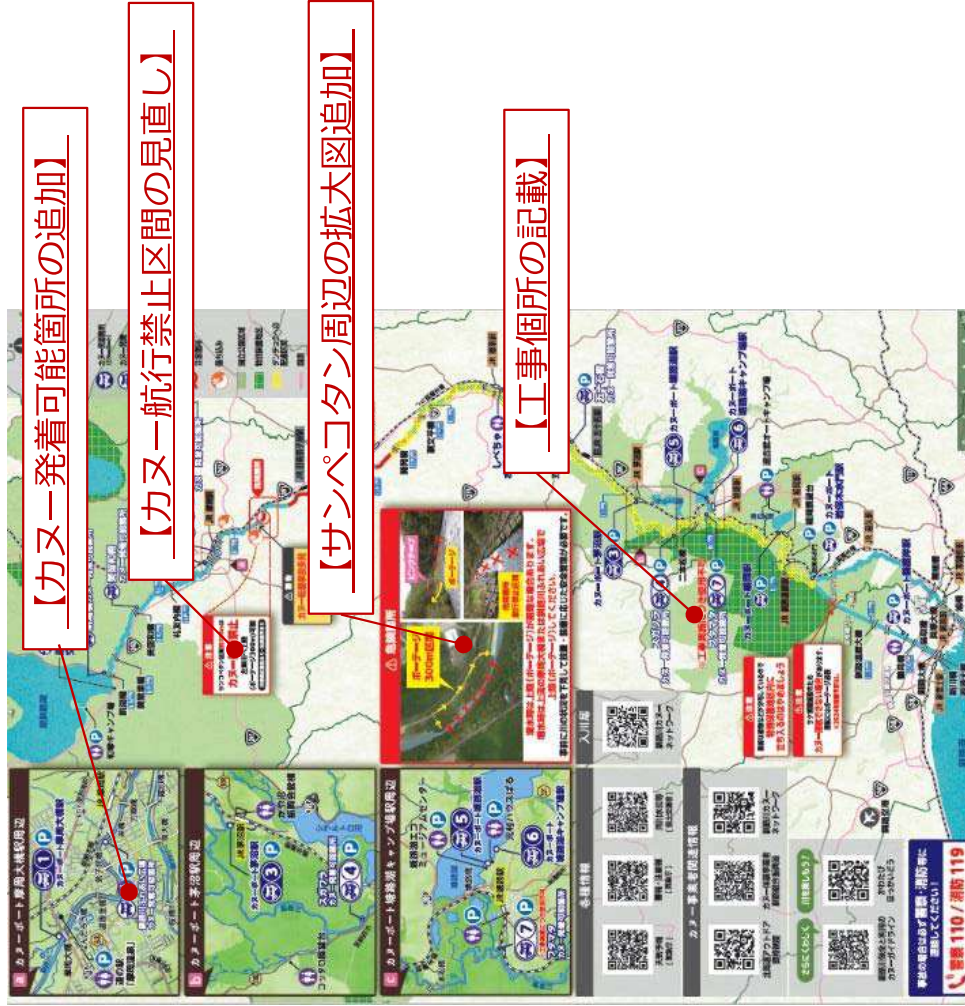
■カヌーガイドラインの見直し <取組中>

○検討の経緯

- R01、R02：作成から年月が経過し、見直しの要望が強かった、カヌーガイドラインを更新
- R03：現地携帯用にカヌーガイドラインポケット版を作成
- R04：カヌー事業者等へ配布
- R05：河道の整備や現地状況等を踏まえて記載内容の見直しを実施



【注意喚起を追記】



オモテ面

ウラ面

### 小委員会事案③

#### ■カヌーガイドラインの見直し <取組中>

○航行禁止区間の見直しについて

- ・ 弟子屈市街地の落差について、今年の工事で落差解消されたことから、航行が可能となった。
- ・ サンペコタン区間については河道内の障害物（ブロック）は一部撤去したが、引き続き既設護岸が危険であるためカヌーの航行を禁止としている。
- ・ 以上より、カヌー航行禁止区間は摩周大橋からサンペコタン周辺の300mと見直しを行う。
- ・ 300mの禁止区間は、ポータージ区間として危険回避するよう表記した。
- ・ 航行禁止の見直しにあたっては、安全確保と利用の観点から釧路川源流域ネットワーク（弟子屈地区のカヌー事業者団体）と現地調査を行い助言に基づき作成。

#### ■ 落差の解消



■ サンペコタン周辺の注意箇所